はじめに

ついつい川に入りたくなってしまうほどの太陽の照りつけと澄み切った空、日が沈み出す頃には静けさの中にヒグラシの鳴き声が響き渡り、夏の到来を感じる今日この頃。

１学期が終わり、約４か月前まで過ごしていた場所へと戻っていく留学生たち。当日が近づくにつれて「いよいよだ、帰るの楽しみー！」「帰ったら、友達とたくさん遊ぶんだ～」と一人一人の目が輝くほど待ち望んでいた帰省ですが、それと同時に「あっという間だったなぁ」「大運会が楽しかったな！」とセンターに来てからの日々を振り返る様子も見られます。

帰省の数日前、普段荷物の整頓に時間がかかってしまう留学生が「前日にやるだけじゃなくて、早いうちから準備を始めるんだ」と意気込んで、帰省に向けての準備を進めていました。ホームステイに入るときには、前日と当日の朝に慌てて準備し、忘れ物をしてセンターに取りに来るということが幾度か。４度のホームステイの準備を通して学んだことを活かした結果の行動のように思います。このような、考えて行動する力はもちろん、掃除や配膳など日常生活で自分の役割を果たす力、相手の話を聞き自分の思いを伝える力など、１学期の間で留学生たちは自分自身を更新させています。受け入れ家庭の方や調理員の方も「来た時と比べて、体だけではなく心も大きく成長している」と話してくださっています。また、自分たちで話し合って問題を解決しようとする姿や、活動を企画・運営する姿があり、個々人の成長だけでなく集団としての力も着実に成長しています。２学期以降にはどのような姿があるのか、どのように変化していくのか、今から非常に楽しみです。まずは８月、センターへ再び元気に戻ってきてくれることを願っています。

山本　将寛

《 ６・７月の活動カレンダー 》

6月

26日　学園登山（金剛堂山へ）
27日　野菜漬

7月

2日　ホームステイ開始
10日　センター入り，避難訓練
10・11日　キャンプ
11日　川遊び
14日　民謡練習
17日　畑作業，川遊び
18日　大掃除，お誕生日会

〒939-2516　富山県南砺市利賀村坂上 18　南砺利賀みらい留学センター
TEL：0763-77-4103　　FAX ： 0763-77-4037
MAIL：nanto-toga-mirai@p1.tst.ne.jp
WEB：http://www.nanto-toga.com/

６／２６　学園登山

「利賀村の中で一番高い山へ、皆で力を合わせて登ろう。」ということで金剛堂山登山を行いました。コースは栃谷登山口から山頂を目指し、そこから東俣の駐車場へ下山する全長１３ｋｍ、標高差の合計は 1200mと少しハードなコースです。

当日は、蒸し暑く山頂付近では雨に打たれるなど、より厳しい状況に置かれた子どもたちでしたが、「がんばろう！」と小学生を中心に気持ちを盛り上げながら、全員で最後まで歩き切ることができました。

６／２７　野菜漬

午前中に採れたラディッシュや大根を保存するため、塩やお酢などで漬けました。この日センターにいた小学生で分担し、洗った野菜を切って、調味料で漬けていきました。「砂糖で甘くしたい！」という発案のもと、ラディッシュの一部は砂糖煮に。また、ジュースにして楽しむため、梅シロップも漬けました。大根をきれいに飾り切りして「すごいでしょ」と得意気に見せるなど、楽しみながら作業していました。この日加工した野菜は、日々の食事で少しずついただいています。

７／１０・１１　キャンプ

４つの班に分かれ、センターの脇でキャンプをしました。雨が降り出す不安定な天候の中、大急ぎでテントを張った子どもたち。石や枝でかまどを作り、薪を集めて、夕食のカレーライスのご飯を飯盒で炊きました。「火がつかない…」と濡れた薪に苦戦していましたが、知恵を出し合って試行錯誤。苦労の甲斐あっておいしく炊けたご飯を「おいしい！」と全班が完食していました。デザートと夜の散歩も楽しんだら、寝袋に入り就寝の時間。夜中も雨が降りましたが、「よく眠れたよ」と快適に眠れた様子。翌日は元気に朝食をとり、片付けをして、１泊のキャンプをやりきることができました。

７／１４　民謡練習

利賀地域に古くから伝わる民謡文化の体験として、「利賀村こども民謡保存会」の練習に参加させていただきました。低学年と高学年以上の二つのグループに分かれて練習をし、低学年は「たろじ」高学年以上は「炭焼きじいさのくどき唄」の演目を地域の保護者の方から教わりました。

学校でも放課後にも民謡に触れる機会をもらっている留学生。利賀の子どもたちと一緒に、２学期以降も練習を続けていく予定です。

７／１１・７／１７　川遊び

天候不良や気温不足ということもあり、「ねぇ。いつになったら川で遊べるの？」と川遊びを心待ちにしていた子どもたち。１１日も雨が降ったり止んだりの天気でしたが、気温は高かったため、午後からセンター横を流れる利賀川で遊ぶことができました。浮き輪などに乗って川を流れて遊んだり、川には入らずに岸で石壁作りに勤しんだりと、それぞれに楽しみ方を見つけているようでした。

梅雨明け後の１７日にも皆で川遊びをしました。１１日に川遊びをしてから後、川の様子をのぞき込んでは「今日は少し濁ってるけど遊べる？」と日々観察をしている子も。この日も準備体操を済ませると、皆で川へと飛び出していきました。川での遊び方も要領を得てきた子どもたち。流れに乗ったり、抗って歩いたり、のんびりと浮かんだりと、この日も様々に川を楽しんでいました。

利賀の夏も本番を迎え、子どもたちは、平日にも宿題を済ませると川遊びへと向かいます。今後は、地域内のいろいろな場所で川遊びをしたいとも考えています。

７／１８　１学期大掃除

普段の掃除ではなかなか手が行き届かない窓や床、棚の上、扉などを、腰を入れて掃除しました。「虫がいるよ…」「疲れた…」となかなか掃除が手に付かない人もいましたが、自分が掃除した場所がきれいになってくると、「ねぇ、見てー。きれいになったよー！」「さっきよりも時間かからずできた！」と嬉しそうに話す様子もありました。各々担当の場所をきれいし、早く終わった人は他の人のサポートをして、始まりから約４時間30 分、みんなで大掃除を終えることができました。

１学期誕生日会

１学期に誕生日を迎えた全員を祝う誕生日会を行いました。夕食は、誕生日の人が食べたいと挙げたものを元にメニューを考え、子どもたちが調理しました。オムそばにワンタンスープ、エビチリ、サラダ、シフォンケーキなどなど。ケーキにろうそくを立て、誕生日の歌をうたって火を吹き消したら誕生日会の始まりです。「どれもおいしい！」と皆お腹いっぱい食べていました。食後は、誕生日の一人一人にメッセージカードをプレゼント。センター内で、肝試しのレクリエーションも行いました。祝われる人も祝う人も皆で楽しむひと時となりました。

今月の畑作業

７月に入り、ピーマンやトマトなどの夏野菜がとれ始めました。子どもたちは朝の係活動で収穫し、厨房へ持ち込んでいます。また、畑では、虫を見つけたり、見慣れない花や実を見つけたりと、多くの発見があるようです。

―　６月２７日（日）　収穫・草取り・土寄せ

ラディッシュや大根、キュウリ、ヤングコーンの収穫をしました。待ちに待った収穫の作業に「これもとっていい？」と次々に手を伸ばす子どもたち。その後は草取りや土寄せ、支柱を立てるなどの作業を行いました。

―　７月１７日（土）　収穫・草取り・間引き

梅雨明けの晴天の下、ジャガイモの収穫を行いました。「ここにあるよ！」と株元を掘って次々に収穫。この日はインゲン、人参、シソ、ナス、ネギも収穫しました。その後は雑草を刈るなど畑を整えて、作業を終えました。

利賀みらい留学に寄せて

留学生は来た時から元気で、学校や家庭のことなど自分のことをたくさん話してくれるので、楽しく過ごせています。ホームステイで一緒に生活を送る中で、お互いに慣れてきて、少しずる賢いところなど、一人一人の本来の姿が出てきました。まだどこか遠慮している姿もあるので、我慢することも大切ですが、言いたいことを伝えてきて欲しい、そして、お互いに楽しい時間を過ごせたらいいなと思っています。

せっかく利賀に来たので、留学生には様々なことを体験してほしいし、たくさんの人に出会ってほしいです。

米倉（よねくら）　佳美（よしみ）　さん

（受け入れ家庭）

たまに夜行く程度ですが、４月初めの留学生たちは、寝る前も大興奮だったのを覚えています。その時と比べて今は落ち着いていて、慣れてきたのかなと感じます。自分が学校に行っていたときは感情のコントロールが大変で、クラスに行けなかったときもあったので、みんなが自分なりの役割を見つけて共同生活を送っているのを見るととても尊敬します。

色々体験をして、利賀の子たちと一緒に成長していると思います。それぞれのペースでのびのびやっていってほしいです。

磯村（いそむら）　咲智子（さちこ）　さん

（地域おこし協力隊・指導補助）

《くま爺のつぶやき》

南砺利賀みらい留学
統括主幹　山本

市内の子どもたちを対象に５月から週末等を活用した利賀村の自然と暮らし体験活動を開始した。５月、６月と定員二倍以上の応募があり、７月下旬に実施する二回の活動も同様に応募が殺到、嬉しい悲鳴となっている。三日前には「森と清流の活動チラシをみた」と城端小学校の保護者さんがセンターに。PTA でこのような活動を検討したいという。活動用具をみていただきフィールドを案内し、「保護者さんがノウハウを学べばできますよ」とお話しした。夏休みには私も童心にかえりリバートレッキング、ウォッチング、スライダーと子どもたちと清流で遊ぶ予定。